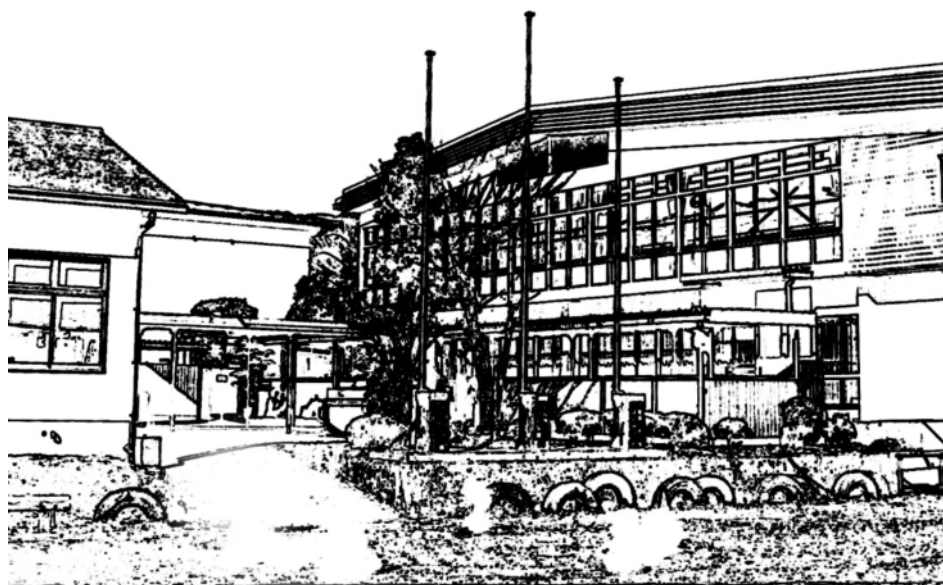


中学部 公開授業資料



時間：10時40分～11時40分

場所：会議室

平成23年度熊本県立天草養護学校研究発表会

中学部では勤労観を小学部で培ったあと、作業学習も始まり、「働くこと」を少し具体的に意識し始める時期である。これまで中学部では、生徒のめざす将来の生活からねがいを設定し、学部内で検討を重ね、作業学習では質の高い製品を作り、販売することを通して現在生徒に必要な技術や集中力、自主性、コミュニケーション能力などを身につけるようにしてきた。キャリア教育の研究に取り組み、キャリア教育全体推進計画やキャリア発達段階全体構造という見取り図となるものができてからは、将来必要となるすべての能力に目を向け、生徒一人一人の将来の姿を意識して授業に取り組むことで、よりきめ細やかな支援を考えるようになった。

ゴゴータイム（生活単元学習）

授業を改善していく中で、生徒のニーズに合わせた授業内容を取り上げようとするとき、学年でグループ分けするよりも、生徒の将来の生活に合わせたグループを作った方がより教育的効果が高いと考え、「ゴゴータイム」を設定した。この活動は火曜、水曜の2日間、午後の時間に設定し、2つのそれぞれのグループで将来の生活に必要な力を身につけるための学習を行っている。それぞれのグループの実態に合わせての活動内容を計画し、洗濯、裁縫、調理等に取り組むことで、今までの生活単元学習などでの調理やその他の活動では気づかないような課題が見えてきた。その課題に対して一人一人に合わせて時間をかけて取り組むことで、できることが増えつつある。

進路学習（総合的な学習の時間）

教師が生徒の将来に目を向け、キャリア教育に取り組む中で大きく変わった授業が進路学習である。研究以前は毎年その年度の生徒の状況、実態、経験を考えて単元を設定し、自分の住む地域を知るための地域マップ作りや、職場見学が中心の進路学習であった。しかしそれは断片的なもので系統的・組織的に取り組んできたとは言い難い取り組みであった。

そこで研究後はキャリア発達段階全体構造を基に進路学習を大きく見直した。様々な実態の生徒を小学部から高等部へつなぐために、日常の活動である「掃除」を生かして、校外で清掃活動を行う活動に変わった。この学習では本校のキャリア教育の6領域の能力や勤労観・職業観を一人一人の生徒のニーズに対応できるような取り組みを行うことにした。身近な活動である掃除を通して「働くこと」を意識することで、学校生活から「働くこと」へのつながりを意識でき、周りから感謝され、認められることで働く喜びを得ることができると考えた。

これまでの進路学習では、その時々指導することで対応しており、教師側の反省に基づく指導が強かった。しかしこの単元では、いつもの活動（掃除）を校外で実践し、社会生活に必要なスキルや掃除の技術などについての反省を報告会という形で行い、課題がある部分を生徒本人が認識したうえで、校内で課題解決の取り組みを行うことができる。報告会という形をとり、ビデオで実際に自分の姿を客観的に見ることで、教師からのアドバイスを理解しやすくなり、掃除の技術のスキルアップやコミュニケーションの向上意欲や他の掃除に対する意欲の高まりも感じることができるようになった。

こういった具体的に働くことを意識した取組を通して、生徒が普段の生活の中でもあいさつや言葉使いなどを含めた学校生活全般で学習への意欲が高まってきている。

平成 2 3 年度
中学部「総合的な学習の時間」指導案
重複学級については自立活動

単元「進路学習 ～天草クリーン作戦 パート～」

日 時 : 平成 2 3 年 1 2 月 9 日 (金)
1 0 : 4 0 ~ 1 1 : 4 0

場 所 : 会議室

生 徒 : 1 1 人 (1 年 4 人 2 年 2 人 3 年 5 人)

指 導 者 : 教 諭 谷 崎 治 香 (T 1) 教 諭 松 下 大 輔 (T 2)
教 諭 波 多 照 美 (T 3) 講 師 迫 千 恵 美 (T 4)
講 師 田 村 珠 恵 (T 5) 講 師 天 野 克 弘 (T 6)
技 師 尾 崎 繁 子 (T 7)

本日の授業について

昨年度から中学部では、天養クリーンタイム（毎日の掃除の時間）で取り組んでいる掃除を中心に据えて進路学習に取り組んでいます。「働く」意識をより高めてくれることを願って、「天養クリーンカンパニー」という会社を設定し、生徒達はその社員として活動しています。今回は年間3回実施している内の、最終段階になります。今年度の締めくくりとして、ほとんどの生徒が本渡方面の公共施設や事業所で清掃活動を行いました。今日はその様子を是非ご覧頂きたいと思い、報告会という形で授業を計画いたしました。それぞれの班での活動の様子やがんばったことなど、今年度3回の進路学習を通して成長した姿を、教師や友だちと共に喜びたいと考えています。この授業を通して、中学部段階の進路学習のあり方について、たくさんのご意見やご指導をいただければと思います。

熊本県立天草養護学校

1 単元「天草クリーン作戦」

2 単元について

(1) 単元について

< 11人の仲間で >

中学部には現在、1年生4人、2年生2人(重複学級1人含む)、3年生5人の計11人が在籍している。何事にも1番を目指して意欲的に取り組む生徒、見通しが持てれば自分の役割に集中して取り組む生徒、日によって気分が落ち着かない生徒など実態は様々である。天養クリーンタイム(掃除の時間)では、全員がそれぞれの担当場所で落ち着いて掃除に取り組むことができている。本単元については、昨年から取り組んでおり、見通しを持って参加できている生徒もいれば、学校外で掃除をした経験がなく緊張感をもって取り組んでいる新1年生や転入生もいる。また、体調等に気を配りながら活動に参加する生徒達は、校内実習を通して周囲の人とのかかわりを楽しみながら活動に取り組んでいる。このように、一人一人の実態に応じた活動内容で11人を4つのグループに編成し、生徒たちが日頃行っている得意な活動を生かして学習に取り組み、周りの人々の役に立っていることを知ることで、自分の存在価値を感じながら自信につなげてほしい。

< 天養クリーンタイムの力をみんなのために >

中学部の進路学習では、昨年度から全校で取り組んでいる天養クリーンタイムで培った力を実社会で発揮しながら、生徒それぞれに応じた「勤労観」「職業観」を育てていきたいと考えている。生徒達は校内や校外から掃除の依頼を受け、「仕事」として掃除を請け負うという形で活動を進めている。生徒一人一人の教育的ニーズをふまえ、本単元でつけてほしい力を考慮しながら、掃除場所や活動を検討し、4グループに分けることにした。1人で1カ所の掃除を責任持ってやり遂げるトイレ班、友だちと役割分担しながら取り組むフロア班、繰り返しの活動で見通しを持って取り組める靴箱班、自分のペースで役割を果たす校内作業班である。また、進路学習を進めるにあたって段階を踏みながら年間3回実施する。第1回目は、校内で普段自分たちが掃除をしない場所や全校生徒が共有して使う場所で、掃除の手順やスキルの獲得を図るようにした。第2回目は、活動への意欲をより高めるため、プロの清掃業者の仕事現場を見学し、実際に学校周辺の公民館や神社、お寺、保育園の清掃活動を行った。第3回目である本単元は、校外清掃活動を中心に取り組む。活動場所はグループの実態に応じて設定し、第1回・2回と同じ場所で活動するグループや、学校から離れた本渡市街にバスで移動し公共施設や事業所の清掃活動を行うグループがある。校内作業班については、第1回・2回よりも長い時間取り組めるよう、また活動場所を広げられるよう取り組んでいく。一人一人が天養クリーンタイム等でこれまで培ってきた力を発揮し、時間いっぱい清掃活動に取り組む、人の役に立ち周りから感謝される喜び、やりがい、自分の活動をやり遂げた達成感等を味わってほしい。

< 「勤労観」から「職業観」へ >

キャリア教育の視点に立って考えると、中学部は小学部で身につけてきた基本的な生活習慣や主体的に参加する力などの「勤労観」に、少しずつ実際に働くための「職業観」を積み上げていく段階であると考えられる。高等部になると、卒業後の進路を見据え作業学習や現場実習等でさらに「職業観」を積み重ねていく割合が高くなる。そこで中学部段階での進路学習においては、学校生活の延長線上に「働く」ことが存在していることを意識しながら、仕事への関心を高め、将来の進路に対するモチベーションを上げていきたいと思っている。本単元では、掃除のスキルだけでなく、あいさつや言葉遣い、時間いっぱい取り組むなどの「働く力」の育成を図りたい。そういった掃除のスキル以外の事にも生徒達が意識を向けていけるよう、高等部での産業現場実習の「初めての場所で初めての活動」の前段階として、校外で掃除に取り組むことで「初めての場所で得意な活動」という状

況のもと、日頃培っている力を発揮してほしい。

<ありがとう、がんばったね>

本単元は、実態も様々な中学部の生徒が楽しく取り組めるよう、「天養クリーンカンパニー」という清掃会社を設立するところから始まる。生徒達はその社員に任命され、社員証と社員帽、辞令を交付される。校内清掃の時は、校長先生から依頼された仕事として受注したり、校外では市役所へ出向き、各施設の課長様より直々に依頼書を受け取ったりする活動を準備した。

生徒たちにとっては、「仕事」としての清掃活動を意識する良い機会となり、同時に「責任感」を育てる機会にもなった。

実際の活動の中では、一人一人に応じた教材・教具の工夫や、励まし・賞賛などの言葉かけを多く行い、意欲を高めるように心がけたい。

そして、たくさんの人から「ありがとう」「がんばったね」という言葉をもらうことで、「働く楽しさ」や「人の役に立つ喜び」を味わってくれることを願いたい。

(2) キャリア教育との関連

能力	関係する活動
関わる力	挨拶・返事・報告をする 場に応じた言葉遣い 友だちや教師と協力して清掃活動をする
描く力	自分の役割を果たす 見通しを持って活動する 将来「働く」夢を持つ
求める力	分からないことを解決する 自分で気づいて掃除をする
働く力	仕事に関心を持つ 清掃活動への意欲 清掃活動の技能（掃除の技術、道具の準備・片付け等） 集中力
生活する力	清掃活動の技能を生活へ生かす 身支度 バスの利用
楽しむ力	人の役に立つ喜び 清掃を終えた達成感

3 単元のねがい

- ・「働くこと」を意識しながら自分から活動に取り組んでほしい。
- ・普段培っている天養クリーンタイムでの力を違う場所でも発揮してほしい。
- ・あいさつや報告、時間を守るなどの「働く力」を身につけてほしい。
- ・報告会では、活動を振り返りながら、互いがんばりを伝え合い認め合ってほしい。

4 単元の計画

(1) 単元の計画

ア 単元活動の進め方

- ・清掃活動へ意欲を持てるように、「天養クリーンカンパニー」を設定し、依頼を受けて清掃する。
- ・社訓で「元気に挨拶」「隅々まできれいに」「時間いっぱいがんばります」を設定し、毎日みんなで読み上げる。
- ・清掃活動は実態に応じて場所を設定し、期間中は同じ活動に取り組む。
- ・掃除の受注は、それぞれの公共施設や事業所の方々の言葉をビデオレターという形で準備する。
- ・丁寧に取り組めるように、毎日自己評価を行う。
- ・自己評価表をもとに頑張りを褒めるようにし、掃除の依頼者からも言葉をもらうようにする。
- ・校外実習期間後は、お互いの頑張りを発表し合う報告会を行う。
- ・清掃を依頼された場所には、清掃の報告書を作成し届ける。

イ 場の設定や教材・教具等の工夫

- ・「天養クリーンカンパニー」の社員としての意識を高める社員証や帽子、ユニホームを準備する。
- ・生徒たちが社員証等を身につけることで出勤したと確認ができるよう、教室の壁面にグループごとにそれらを掛けておくようにする。
- ・活動場所や生徒に応じて、手順表や区切りの目印となる物などを準備する。
- ・掃除道具は、必要に応じて普段から使い慣れた物を持参する。
- ・掃除場所は普段の掃除へのつながりや、将来の生活に役立つよう実態に応じて設定する。
- ・自己評価表は、実態に応じて2種類準備する。
- ・単元の見通しが持てるよう、集合場所に単元表を貼り毎日確認する。
- ・「仕事」という意識を高めるため、教室に社訓「元気にあいさつ。隅々まできれいに。時間いっぱいがんばる。」を掲示する。

ウ 教師のかかわり方

- ・できるだけ目を配りながら他の清掃活動を担当したり、生徒と一緒に活動したりする。
- ・生徒が意欲を持って丁寧に取り組めるよう、励ましや賞賛、時には注意をうながしながら声かけを行う。

(2) 日程計画

月	日(曜日)	活動(作業)内容				備考
11	28日(月)	導入(日程説明・校内校外作業受注 など)				
	29日(火)	事前指導(校内清掃)				
	30日(水)	事前指導(校内清掃)				
12		トイレ班	フロア班	靴箱班	校内作業班	
	1日(木)	ポルト	本渡中央公民館	本町公民館	ゴミ捨て 洗濯 紙すき	
	2日(金)	サンリブ		本町小学校		
	5日(月)	バスセンター		東向寺保育園		
	6日(火)	葉山苑		葉山苑		
	7日(水)	本渡中央公民館	↓	本渡中央公民館		
	8日(木)	報告会準備				
	9日(金)	報告会				本時
	12日(月)	実習先への報告書づくり				
13日(火)	報告書渡し					

5 本時について

(1) 本時のねがい

- ・自分のがんばりを友だちに伝えてほしい。
- ・友だちのがんばりを知ってほしい。

(2) 本時の展開

時間	活動内容	指導上の留意点	準備物
10時40分	1 集合時に社員証を取る。 2 集合してあいさつ・点呼をする。 3 本時の学習内容を知る。	・社員証で出勤状況を確認する。	社員証
10時45分	4 報告会をする。 校内作業班の報告 ・今回の報告をする ・活動先の方からのビデオレターを見る ・写真で1年間を振り返り、担当の先生の言葉を聞く 各班同じ流れで行う トイレ班の報告 フロア班の報告 靴箱班の報告	・事前に報告会の準備をしておき、雰囲気作りを行う。 ・生徒の活動の様子がわかりやすいよう、ビデオを準備する。 ・報告に集中できるよう、映像を見たあとで発表するようにする。 ・声が小さい生徒や、携帯端末等の機器を使う生徒用にマイクを準備する。 ・以前学習した“聞く姿勢”についての内容を思い出すよう声かけを行う。 ・報告は事前に生徒と一緒に準備した原稿を使用する。 ・生徒全員が実態に応じた発表ができるよう、支援を行う。 ・すぐにがんばりが評価されるように、活動先の方からのコメントや、教師からのコメントを班の報告後に設定する。	テレビ パソコン 報告原稿 携帯端末(i-pod) ビッグマック ビデオレター マイク
11時35分	5 社長の話を聞いて、表彰を受ける	・1年間通して、本人ががんばったり、成長したりした部分を表彰する。	表彰状
11時40分	6 終わりのあいさつをする。	・明日の活動に見通しが持てるような説明をする。	

(3) 子どもの様子、ねがい、手だて

場所	生徒名(仮名)	生徒の様子	本時のねがい	手だて
フロア班	田川麻希さん (3年)	毎日の掃除では教室の掃除を行っている。机を廊下に出して隅々まで箒で掃き、決められた範囲を雑巾で拭くことができる。気持ちが不安定になることがあり、雑巾や机運びをやりたがらないこともある。	・掃除場所や係が変わっても落ち着いて最後まで自分の役割をこなしてほしい。描	・事前に掃除場所と係を日程表で示す。 ・その日の自分の役割の表を作っておき、がんばることができたらシールを貼る。

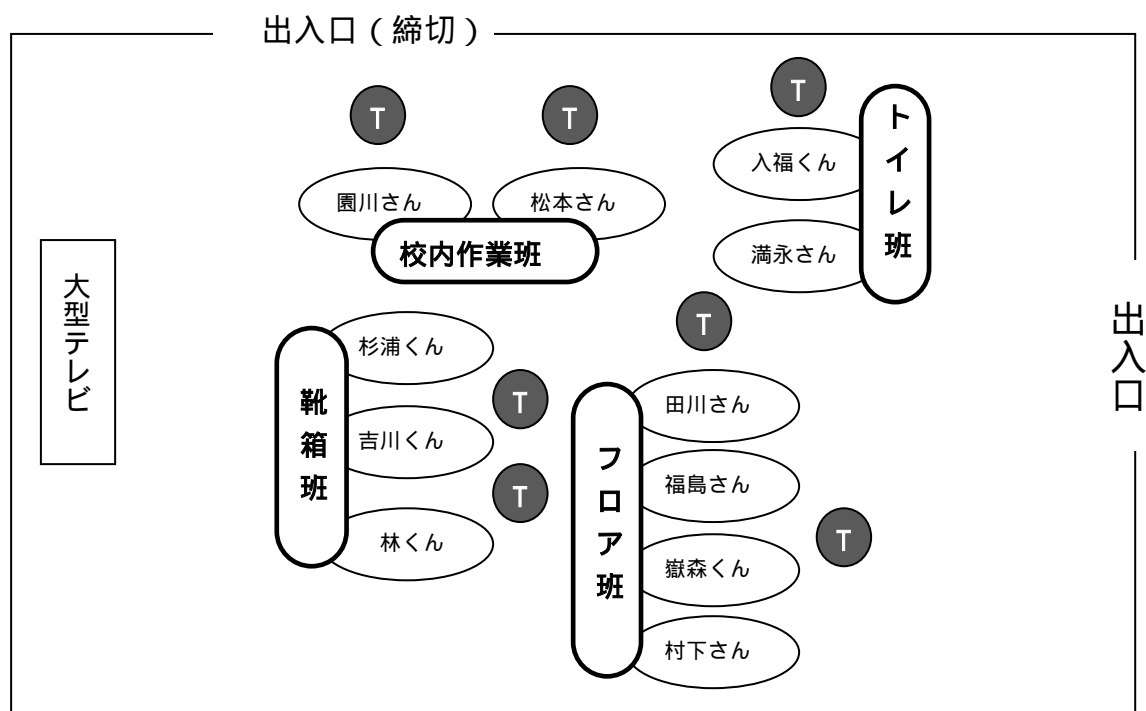
		人前で発表することは進んで引き受ける。感想を自分で考えることや文を読むことは難しいが、教師が横で支援すると発表することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの人の前でも落ちついて自分の発表をしてほしい。 描 	<ul style="list-style-type: none"> ・フロア班の発表の流れを写真等を使って見通しが持てるよう知らせる。 ・発表原稿を作り、みんなと繰り返し読み練習をする。
村下亜衣さん (3年)		学校での掃除は空き教室を一人で担当している。理解力もあり、言われたことはすぐに理解し、自分一人で掃除をすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習中は敬語を使い、きちんとあいさつしてほしい。 関 ・自分から汚れているところを見つけて掃除してほしい。 求 	<ul style="list-style-type: none"> ・始める前に言葉使いと自分で汚れているところを探しながら掃除するというを毎日確認して始める。
		会話もスムーズで作文も一人で書くことができるが、人前で発表することは少し苦手意識がある。教師に促されると人前でも自分で原稿を読み、発表することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな声で自信を持って発表してほしい。 関 ・自分の言葉で感想等発表してほしい。 求 	<ul style="list-style-type: none"> ・練習の様子を動画で見せ、できるだけ大きな声ではっきり発表できるよう伝える。 ・一緒に学習を振り返り、言葉を引き出しながら考えていく。
福島美雪さん (2年)		クリーンタイムでは教室掃除を担当し、目印を見ながら床を雑巾で横拭きしている。初めての場所や活動に戸惑ってしまうことがある。	<ul style="list-style-type: none"> ・普段とは違う掃除場所に対応して、自分の役割(雑巾がけ)をしてほしい。 描 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に掃除場所が確認できるような写真入りの日程表を準備する。 ・毎日の掃除で使っている美雪さん専用の目印(雑巾ポインター)を使用する。
		学校では言葉を発することはなく、人前に立つことは苦手である。最近親しい友だちや教師には、手にタッチすることで自分の意思を表現するようになってきた。普段の学習中に携帯端末を使って教師に「できました」という報告をしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの人前でも携帯端末を使って報告をしてほしい。 描 	<ul style="list-style-type: none"> ・手のタッチで本人の意思を確認し、事前に報告内容を作成し、携帯端末に録音しておく。 ・普段使い慣れた携帯端末を準備する。 ・見通しが持てるよう、事前に発表の流れを確認する。 ・同じグループの生徒と一緒に繰り返し発表の練習をする。
嶽森且行君 (1年)		クリーンタイムの教室掃除では、黒板の溝や窓のサッシなど、隅々に目を向けて掃除をするようになってきている。声は小さいが、あいさつ等は自分からすることもある。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で汚れている箇所を3カ所以上見つけて掃除をする。 求 ・大きな声であいさつ、返事、報告をする。 関 	<ul style="list-style-type: none"> ・普段の教室掃除で気をつけている箇所等について声かけをする。 ・望ましいあいさつ、返事、報告の仕方を事前に伝え、練習する機会をつくる。 ・良くできたときには大いに褒める。

		考えるのに時間はかかるが、活動を振り返って簡単な感想を言うことができる。発表するときは、声が小さくなることが多い。	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちや教師に自分の頑張りを大きな声で伝えてほしい。関 ・自分の言葉で感想等を発表してほしい。求 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に活動を振り返る時間を設け、伝えたいことを書いておくようにする。 ・自信を持って発表できるよう発表の練習を繰り返し行う。 ・活動の写真等を準備し、一緒に活動を振り返りながら、感想を引き出すようにする。
靴箱班	吉川知希君 (3年)	雑巾を絞ることはできるが力加減が難しく、水切りが不十分である。	<ul style="list-style-type: none"> ・活動に見通しをもち一人で掃除に取り組んでほしい。描 ・雑巾の絞り方に注意しながら、時間いっぱい活動に取り組んでほしい。求 	<ul style="list-style-type: none"> ・掃除する手順が分かりやすいよう、クリーンボックスを横から順番に並べておく。 ・靴箱掃除が早く終わったときは、テーブル拭きなど、本人ができる活動を準備しておく。 ・雑巾を絞る回数を決め、水切りを最後に教師が確認し、絞り切れていないときは回数を増やすようにする。
		感情表現するときに「あー」などの発声がある。簡単な言語理解はできるが、説明などの話を聞くことは難しい。	<ul style="list-style-type: none"> ・報告会で称賛の喜びを味わいながら、友だちの活動にも興味・関心を持ってほしい。関 	<ul style="list-style-type: none"> ・できたことをしっかり誉め、友だちの活動にも興味を持てるように、視聴覚教材(DVD)を活用する。
	杉浦瑠衣君 (1年)	クリーンタイムは教室の雑巾がけに行っている。初めて行う活動に戸惑うこともあるが、何度か繰り返し行うと見通しを持って行うことができる。今年度から新しく雑巾の横拭きを始めたが、直ぐに対応することができた。準備や片付けなど、自分で行うことが増えてきた。	<ul style="list-style-type: none"> ・一人で道具の準備と片付けができるようになってほしい。働 ・初めての場所でも見通しを持って取り組んでほしい。描 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人で道具の準備ができるよう、写真やイラスト付きのカードを準備する。 ・掃除の手順が分かるよう、道具に順番を付け一人で取り組めるようにする。
		言葉での発表は難しいが、身振り手振りで表現しようとする姿が見られる。落ち着いて話を聞くことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・発表用紙を使って、自分で一つ頑張ったことを発表してほしい。関 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真を貼った発表用紙を準備する。 ・自分で頑張った活動が選択できるように、写真を提示し反省を行う。



	林健太君 (1年)	クリーンタイムでは教室の雑巾がけを横拭きで行っている。同じ活動を教師と一緒にくり返し行くと見通しを持つことができ、自分の係のパケツ準備や雑巾がけ、テーブルやイスを運ぶ等、1人でできる。	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃場所が替わっても、10箇所の靴箱掃除に取り組んでほしい。【描】 ・初めての人でも、教師と一緒にあいさつができるようになってほしい。【関】 	<ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすいよう写真付きの手順表を準備する。 ・10箇所の確認ができるように目印になるカードを置いておく。 ・あいさつの仕方が書いてあるカードを準備し、活動の前に教師と一緒にあいさつの練習を行うようにする。
		大勢の前に出ることが苦手で、落ち着かないことがあるが、小さな声で原稿を一人で読むことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちの前で自分の頑張りをマイクや発表用紙を使って発表してほしい。【関】 	<ul style="list-style-type: none"> ・報告会でも使う同じ形式の反省カード(原稿)を準備し、くり返し読む練習を行う。 ・初めは教師が横に付いて発表の練習を行う。
トイレ班	入福昌男君 (3年)	今年度からクリーンタイムではトイレ掃除を始めた。1ヶ月かけて、便器のブラシと拭き上げができるようになった。	<ul style="list-style-type: none"> ・一人で手順どおりに掃除を行ってほしい。【働】 ・決められた作業の後に自分で「おわりました」と報告してほしい。【関】 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校で行っている掃除を基に、掃除する場所に合わせた手順書を準備する。 ・手順書の中に「報告」という項目を作る。
		質問すると、オウム返しすることが多く、複数の選択肢を持って質問すると、初めに聞いた選択肢を選ぶことが多い。	<ul style="list-style-type: none"> ・掃除で何を行ったのか、自分で伝えてほしい。【求】 	<ul style="list-style-type: none"> ・報告会準備の時、写真カードで「便器拭き」「ほうき」などの選択肢を提示して、自分で頑張ったことを選べるようにする。
	満永彩音さん (3年)	トイレ掃除は2学期まで一人でできるようになっており、あいさつや丁寧な言葉使いを苦手としている。	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ、丁寧な言葉使い、時間以内に終わる、終わったら他に仕事を見つける等、今まで取り組んできたことを意識してほしい。【関】【働】【描】 	<ul style="list-style-type: none"> ・全員共通の自己評価カードに追加して、自分がクリアすべき項目をチェックリストにして添付し、毎回チェックを行う。

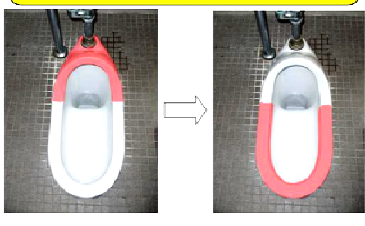
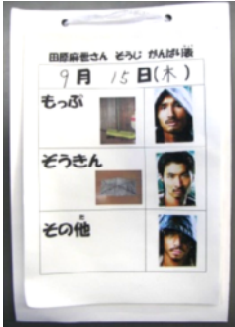
		<p>人前で話すことが苦手。自分に自信がなく、できていない所を人に見られたりすることに抵抗がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人前でできるだけ大きな声で発表してほしい。関 ・できなかった所を受け止め、今後の学校での活動に生かしてほしい。描 	<ul style="list-style-type: none"> ・聞く方の雰囲気作りをする。 ・少ない言葉で伝わるように内容を一緒に考え、事前に声の大きさ、スピードを中心に練習を繰り返す。 ・次に校内で改善するための場を準備する（交流クリーンタイム） ・チェックリストと動画で客観的に振り返れるようにする。
校内作業班	松本愛子さん (2年)	<ul style="list-style-type: none"> ・周囲の会話している声を聞いたり、スキンシップを通して人とかがわたりすることが大好きである。嬉しいときには、笑顔になったり発声の仕方を変えたりして、自分の気持ちを表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分なりの方法（手を広げる、声を出す、顔をあげるなど）で応えてほしい。関 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師と一緒にいき、掃除の雰囲気味わうようにする。 ・発声の仕方や体の動きが変化するので、受け止めながらわかる。
		<ul style="list-style-type: none"> ・自分の力でスイッチを押すことができるようになってきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・左手の動きをいかして、スイッチを押してほしい。描 	<ul style="list-style-type: none"> ・手を動かしやすいように、安定した姿勢を保持できるようにする。 ・左ひじに手を添えて、支点を作り動きやすくする。 ・スイッチに声を録音しておく。
	園川光さん (1年)	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の掃除では、学部の洗濯を行っている。回を重ねる毎に一人でかごを持つ時間が長くなってきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の担当する活動が終わるまで、両手でできるだけ1人で洗濯かごを持ち、洗濯物を集めてほしい。描 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の掃除で行っている洗濯を行う。 ・できるだけ一人でできるように教師が見守りながら、難しい時だけ手をとるようにする。 ・体調や気分を見ながら行う。 ・気分が落ち着かない時は、リラックスルームで静養する。
		<ul style="list-style-type: none"> ・前回の報告会では、スイッチを使って発表をすることができた。大きな音や騒がしい環境が苦手な、その場にいられないことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の出番がきたら、スイッチを押して、発表してほしい。描 	<ul style="list-style-type: none"> ・スイッチに声を録音しておく。 ・体調や気分を見ながら行う。

(4) 場の設定



(5) 教材・教具等の工夫

雑巾ポインター	用途など
	<ul style="list-style-type: none"> ・雑巾で床拭き掃除をするとき、雑巾を動かす幅がわかる。 ・簡単に設置でき、教室移動も簡単。 ・コンパクトにたためる。
靴箱掃除セット	用途など
	<ul style="list-style-type: none"> ・写真カードなどでの提示が難しい生徒が、掃除の順番を理解できるように、上から順番に具体的な道具を置いて、上から順に使うようにする。

トイレ掃除手順書・和式便器拭き方カード	用途など
<div data-bbox="183 257 422 616"> <p>天橋タリールカンパニー 最高トイレ掃除の仕方</p> <p>準備するもの</p> <p>掃除の順番</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 便器に洗剤をまき、ブラシで洗う。 2. 雑巾で便器の壁をふく。 3. 雑巾で便器の底をふく。 4. 水を流し、ブラシでみがく。 5. トイレトペーパーを掃除。 6. スリッパを脱ぎ捨てる。 7. 洗面所をスポンジで洗ってふく。 8. ゴミをすてる。 </div> <div data-bbox="462 302 829 604"> <p>和式便器のふきかた</p>  <p>① → ②</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレ掃除を迷わず、一人で行うための手順書。満永さんの方は毎日の掃除と同じ手順でそろえてある。 ・和式トイレを迷わずスムーズに行えるように、雑巾で拭く順番を図示。（校内では洋式）
掃除がんばり表	用途など
	<ul style="list-style-type: none"> ・その日の役割を一つやり遂げる毎に好きな歌手のシールを一枚貼る。 ・その他の欄は自分の役割以外のことができたならシールを貼る。

事例

【中学部 1 年生 杉浦君の様子】

生徒について		
卒業後の姿(将来の生活についての希望)	<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ一人で、身のまわりのことができ、福祉施設等で人の役に立つ活動ができる 	
年間のねがい	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の中で、一人でできる事を増やす。 ・新しい学校生活に慣れ、楽しんで活動してほしい。 	
単元でのねがい		
関わる力	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の担当している掃除場所が終了したら、報告ができるようになってほしい。 ・校外で、一人であいさつができるようになってほしい。 	
描く力	<ul style="list-style-type: none"> ・初めての活動や場所でも見通しを持って取り組んでほしい。 	
求める力		
働く力	<ul style="list-style-type: none"> ・10 箇所の靴箱を手順通りに掃除してほしい。 ・一人で道具の準備と片付けができるようになってほしい。 	
生活する力		
楽しむ力	<ul style="list-style-type: none"> ・達成感や人の役に立つ喜びを味わってほしい。 	
本単元(題材)の児童生徒の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・進路学習第一回、第二回と靴箱清掃を行っており、一人で道具を使い掃除することができている。 ・清掃活動には意欲的であり、雑巾や靴箱用の小箒を使って隅々まで掃除をする姿が見られる。 ・自分の担当している清掃場所が終わると「先生」と声をかけ報告することができつつある。 ・校外清掃に出かけた際には、教師の手本を真似ながら一緒にあいさつすることができる。 	
活動内容	手だて	活動での様子
<p>一緒に活動するグループメンバーの確認をする。</p> <p>掃除道具を準備する。</p> <p>掃除場所へ移動する。</p> <p>清掃活動をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・靴を取り出して砂などを掃き出す。 ・雑巾で拭く。 ・靴を元に戻す。 <p>教室へ移動し自己評価をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・DVDで編集した掃除場所や掃除の手順を見て、掃除場所に行くようにする。 ・手順が分かりやすいよう、掃除の順番に道具を並べた道具入れを準備する。 ・初めは教師と一緒に順番に道具を取り出して掃除をしながら、手順を覚えるようにする。 ・あいさつができるよう、活動前に教師と一緒に確認する。 ・良くできた時には大いにほめるようにする。 	<p>事前に清掃場所、掃除の手順等について映像を使って説明したが、初めて行う活動だったので戸惑う姿が見られた。何度かくり返し活動すると靴箱用掃除セットを使って手順通りに掃除を行うことができるようになった。</p> <p>校内の先生に一人であいさつすることは難しかったが、教師と一緒にあいさつすることが数回できた。</p> <p>教師と一緒に活動し、「上手だね」「綺麗になったね」という賞賛の言葉かけを行うようにすると、次の掃除場所に進んで取りかかる姿が見られるようになった。</p>

<p>第 2 回 9 月</p>	<p>一緒に活動するグループメンバーの確認をする。 学校出発。 掃除道具を準備する。 掃除場所へ移動する。 清掃活動をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・靴を取り出して砂などを掃き出す。 ・雑巾で拭く。 ・靴を元に戻す。 <p>学校へ移動し自己評価をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に活動場所の写真や活動内容を確認するようにする。 ・自分が担当する靴箱の範囲が分かりやすいよう、予め5箇所に赤色のカードをつけておき、終わった外すようにする。 ・一人で掃除に取り組めた時には、誉めるようにする。 ・活動前に学部全体であいさつについて確認を行う。 	<p>初めての校外清掃だったが、落ち着いて活動に参加することができた。掃除の手順は久しぶりの活動だったので忘れていたこともあったが、徐々に手順を思い出し、一人で掃除をすることができた。</p> <p>掃除道具の準備や片付けは教師と一緒にいった。</p> <p>教師と一緒に清掃場所の方にあいさつすることができた。</p> <p>「おわりました」の報告を自分から言う回数が増えてきた。</p>
<p>第 3 回 12 月</p>	<p>一緒に活動するグループメンバーの確認をする。 学校出発。 掃除道具を準備する。 掃除場所へ移動する。 清掃活動をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・靴を取り出して砂などを掃き出す。 ・雑巾で拭く。 ・靴を元に戻す。 <p>学校へ移動し自己評価をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の見通しが持てるように、校内や何度か活動した場所から活動を行うようにする。 ・初めて行う場所は、お掃除マップやDVDの映像等を利用して、事前に活動場所の確認を行う。 ・掃除道具の準備を自分でできるように準備する道具カードをカゴに提示しておく。 ・予め10箇所に赤色の付いたカードを靴箱につけて置くようにする。 ・手順を確かめられるよう、写真付きの手順表を準備しておく。 ・一人であいさつができるように、活動前にはあいさつの練習を行う。 ・自分の担当場所が終わったら教師と一緒に確認し、できていたら大いに誉めるようにする。 	<p>掃除の手順や活動内容を忘れていたことがあったが、徐々に見通しを持って活動に取り組むことができた。</p> <p>事前に活動場所の説明を行うことで初めての場所でも戸惑うことなく作業に取りかかることができた。</p> <p>何度か教師と準備を行うと、掃除道具カードを自分で確認しながら準備することができた。</p> <p>赤いカードを見つけ、「これ」と教師に質問することがあったが、一人でカードを確認する姿が見られた。</p> <p>始めは1箇所終わると「先生、終わったよ」と報告していたが、報告の言葉の確認をそのつど行うようにすると徐々に10箇所すべての掃除が終わってから「先生、終わりました」と報告するようになってきた。</p> <p>自分からあいさつすることは難しかったが、教師が何度か一緒にあいさつを行うと一人でできた。</p>

事例

【中学部3年生 満永さんの様子】

生徒について		
卒業後の姿 (将来の生活についての希望)	<ul style="list-style-type: none"> ・グループホームなどで生活しながら、一般就職する。 ・公共交通機関を利用して出かける。 	
年間のねがい	<ul style="list-style-type: none"> ・時間を守り、最後まで活動する。 ・苦手な活動にも取り組む。 	
単元でのねがい		
関わる力	活動中は丁寧語を使ってほしい。	
描く力	時間の見通しを持って作業し、余った時間は仕事を見つけてほしい。	
求める力	分からないときは自分で尋ねてほしい。	
働く力	場所が変わっても臨機応変に、集中して隅々まで掃除してほしい。	
生活する力	バスの運賃を自分で払ってほしい。	
楽しむ力	人に感謝される喜びを味わってほしい。	
本単元の生徒の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度から天養クリーンタイムではトイレ掃除を行っている。 ・トイレ掃除のやり方は数週間で理解して、自分でできる。 ・普段のトイレ掃除は曜日毎の活動表を確認しながら掃除ができています。 ・言葉使いに課題がある。 ・人前で話すことが苦手である。 	
活動内容	手だて	活動での様子
一緒に活動するグループメンバーを確認する。 掃除道具を準備する。 掃除場所へ移動する。 職員トイレ掃除をする。 ・便器ブラシでの便器磨き ・雑巾での拭き上げ ・箒で床を掃く ・デッキブラシで床を磨く ・手洗い場を磨く 教室へ移動し自己評価をする。	・形が違う便器でも、戸惑わずできるように、写真で拭く順番を図解したものを準備する。 ・活動の順番が分かる工程表を準備する。 ・時間の見通しが持てるよう、残り時間が視覚的にわかるようにする。(携帯端末で表示)	初日は中学部から持っていく道具を確認しながら用意した。 工程表を見て自分で確認しながら、順番に取り組むことができた。便器掃除も戸惑うことなくできた。 2日目から導入の携帯端末で時間を確認しながら行い、時間は残っているが、別の場所のトイレ掃除をするには足りないと判断し、「何をすればいいですか」と尋ねることができた。 言葉遣いには課題が残った。

<p>第 2 回 9 月</p>	<p>一緒に活動するグループメンバーを確認する。 掃除道具を準備する。 学校出発。 掃除場所へ移動する。 清掃活動をする。 (本町のトイレ：公民館など) 学校へ移動し自己評価をする。</p>	<p>・言葉使いを中心に指導し、悪かった例、よかった例をビデオで撮影。報告会で確認し、全員でほめる場面を設定した。</p>	<p>言葉遣いの課題は残っていたが、良い場面を報告会で披露し、みんなからほめられ嬉しそうだった。その後、天養クリーンタイムでは気をつけて敬語を使う場面が多くなり、他の場面（休み時間、作業学習など）と比べても、クリーンタイムの時間の言葉使いが特別によくなってきた。</p>
<p>第 3 回 12 月</p>	<p>一緒に活動するグループメンバーの確認をする。 掃除道具を準備する。 学校出発。 掃除場所へ移動する。 清掃活動をする。 (旧本渡方面のトイレ：バスセンターなど) 学校へ移動し自己評価をする。</p>	<p>・掃除の技術、丁寧な言葉、あいさつ等、本単元で求められる力について、個別のチェックリストを準備し、作業終了後に教師と一緒に確認する。</p>	<p>あいさつ、言葉遣いを確認して活動を始めたが、校外の初日は忘れていて「先生、これでいい?」という感じで話し始めた。一緒に言葉を確認すると、その場で自分で言いなおすことができた。3日目くらいから自分で意識して取り組む姿が見られ、突然、相手の方から感想を求められても丁寧な言葉遣いで話すことができ、感謝の言葉まで伝えることができた。日誌には喜びながら記入し、担当以外の先生にも日誌を見せる姿が見られた。</p>